

林檎

岩手Mac友の会

Vol.2, No.5 1990.10.4

Iwate Macintosh Funclub



アップルのネット

Apple Computer Japan (以下ACJと略)が、ユーザーグループサポートの一環としてユーザーグループ向けのBBSをオープンしました。現在はまだテスト運用の状態、我がIMFほかいくつかのユーザーグループと、アップルの社員、更に日経MIX、Nifty-Serve、PC-VANのマック会議議長などが参加しているだけです。(東北では現在IMFのみ)システムはTeleFinder日本語版で運営されており、操作性は抜群です。上の画面を見てください。Finderの画面そっくりでしょう?

このBBSはユーザーグループの代表者のみに解放されるものです。このようにユーザーグループへのサポートが充実して来るのは、素晴らしいことです。ちなみに他のパソコンメーカー

で、ユーザーのためのBBSをフリーダイヤルでサービスしている所を私は知りません。

Macは日本で現在1万台/月のペースで出荷されているそうです。このよう

にACJの成績が上がりApple本社への発言力が強くなって、もっと日本のユーザーへのサポートが充実することを期待するとともに、IMFからACJにメールを送りたいと思います。

MMM開催報告

何とか無事にMMMを終了しました。遠くからいらしていただいた皆様に、参加のお礼とちゃんとしたもてなしの出来なかったお詫びを申し上げます。また、IMFのスタッフの皆様には、その多大なるご協力に對しまして深くお礼を申し上げます。私の配慮不足による運営の不手際などに、寛大な配慮と助言や行動での援助は、どんなに心強く感じられたことか。本当にありがとうございました。

いろいろな行事に重なったにも拘らず大勢参加していただいたことも企画

したものとして大変嬉しく思います。また、アップルコンピュータジャパンの正式参加も嬉しいことでした。改めてお礼を申し上げたいと思います。

2次会のアスカッション(BOF)でユーザーグループがアップルから恩恵を受けるだけでなく、アップルを何等かの形で応援することも、ユーザー会の役目の一つである事を痛感しました。ユーザー会の活動そのもののように、ギブアンドテイクの精神がアップルとユーザー会の間でも必要な事だと思えます。

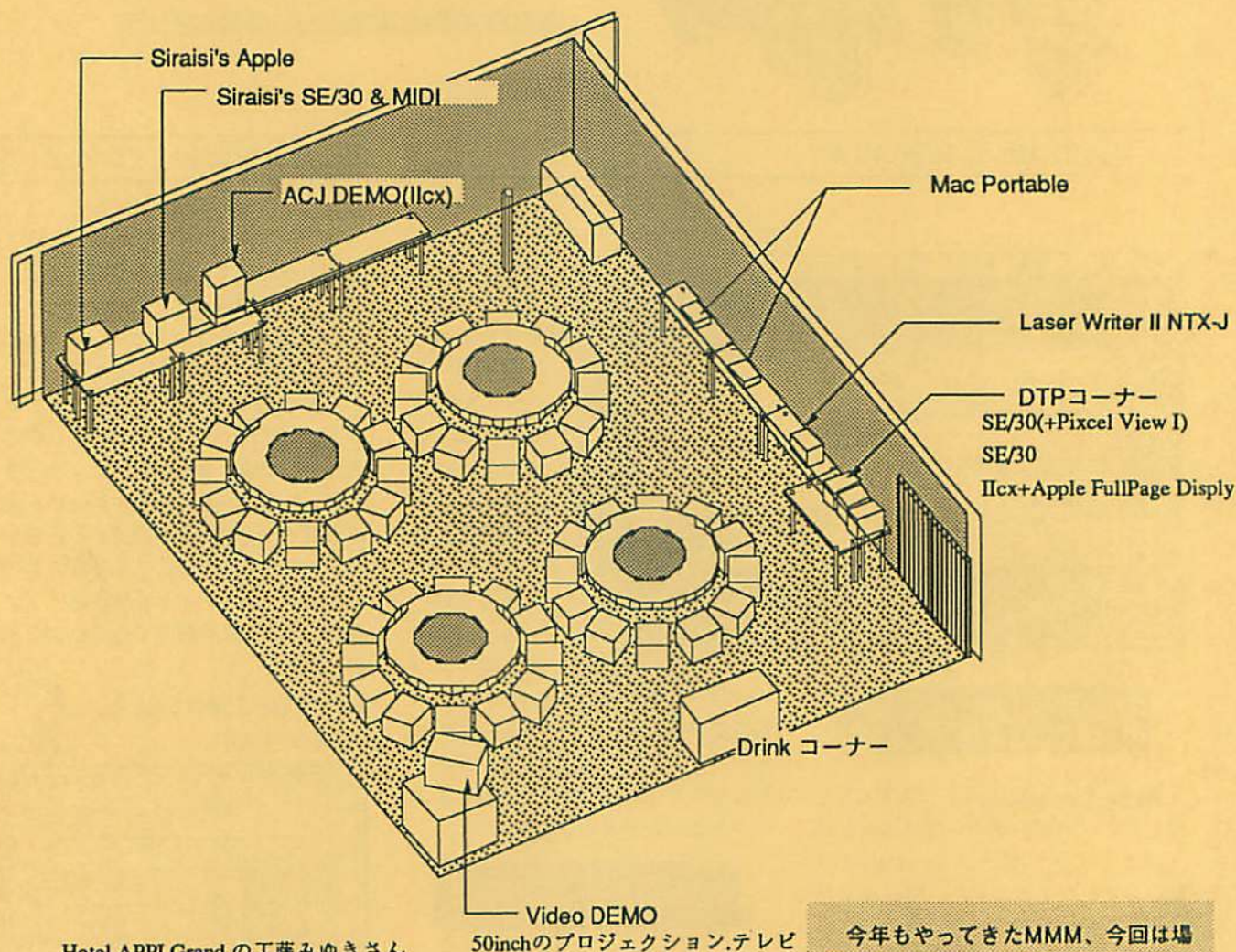
MMM関連の記事は2頁から特集があります。



Inside

MMM特集	2
MMMメッセージ	4
MMM寄書き	7
林檎ギャラリー	8
茶房	9
私のMac Life	10
山の花	12
English Column	13
Marathon奮戦記	14
HEADWAY	16
余計なお世話	17
掲示板	18
編集後記	18
会員名簿	19

Meet the Mac in Michinoku '90



Hotel APPI Grand の工藤みゆきさん



Video DEMO
50inchのプロジェクトン.テレビ

今年もやってきたMMM、今回は場所を変えてスキー場で有名な安比までやってきました。Hotel Appi Grandの「奥入瀬」の間で参加人数40数名で盛大に開催されました。

今回残念ながら参加できなかった方にも、当日の雰囲気を読めるだけ味わっていただこうと、当日の会場を再現してみました。

Macが何台もならんで、壮観だった会場の雰囲気を読み取っていただければ、嬉しいですね。



MMM '90が9月22日から23日にかけてHotel APPI Grandで開催されました。今回のMMMの目玉はなんといってもApple Computer Japan (以下ACJ)からお二人のゲストをお迎えしたこと、そしてHotelに泊まりがけで行なわれたことです。

遠来の参加者が、心ゆくまでMACを語る。飲むもよし、風呂にはいるもよし。料理はうまいし、姐ちゃんは…??

こんな環境の中で起こったあれこれをレポートいたしましょう。



今回のMMMにはACJからユーザーグループのサポート担当の野村さん、そして中島さんのお二人を迎えました。さらに日経MIXの諫訪さん、Dr.kこと佐藤圭さんほか4名が東京から、仙台の東北MUGから小林栄さんご夫妻ほか2名、東北SRAの和田勇さん、そして地元のIMFから28名の参加がありました。地元とはいえ、秋田からおいでの渡辺先生、仙台に転勤した前田さん、単身赴任で釜石にいる藤村さんなど遠路各地からお集まりいただきました。香城さんは奥様とお子さま連れで参加され、まことにほほえましい光景が繰り広げられました。

会場はH. APPI Grandの会議室でしようか左頁の図のとおりACJや会員の方々が持ち込んだマックで埋め尽くされ、丸テーブルの上に中華料理が用意されるあいだ、早速マックに向かう姿があちこちに見られました。



中でも圧巻だったのは白石さんが持ち込んだSE/30、Dyna Mac、Apple II、21インチモニター、MIDIシンセサイザーの数々だったでしょう。その賑やかなこと賑やかなこと。SE/30にはCDドライブが繋がれ、MIXの諫訪さんが開発した広辞苑リーダーのデモが行なわれていました。MIXの宮武さんのVJE InLINEからも広辞苑を検索できるようになっていて、その便利さにCDドライバーが欲しくなったというのが実感でした。

今回は、林檎の臨時号を一晩で作って皆さんにお土産にして頂こうという企画も同時進行していて、参加者がその記事としてのメッセージや寄せ書き(SuperPaintによるお絵書き)を随時書き込めるように何台かのマックがそれに充てられていました。

宴は照井さんの司会進行で始まり、会長の野村さんの挨拶、来賓の方々そしてH. APPI Grandの工藤さんの挨拶に始まり、各自の自己紹介を交えたスピーチが続きました。一人一分なんて制限などこふく風、ユニークな話がつぎつぎに披露される中、参加者はうまい料理とビールを平らげていきました。ACJにはデモ用のIIcxのほか、ビデオテープやCDを持参していただきましたが時間が足りなくて、充分には拝見できませんでした。

ACJからはその他に参加者一人一人にTシャツと抽選会用の景品としてアップルマークのシールやバッジ、テレカを提供していただきました。これに今回の参加記念品のPlus型の南部鉄器の文鎮(参加者は一つずつ頂けましたが余分な分)と、さらにラーメンや雑誌など有志のご喜捨を加え、恒例の抽選会が始まりました。昨年は藤村さんとジャンケン合戦をして勝ち残った人が権利を獲得したのですが、今回はビンゴで勝者を決めました。しかもビンゴの数字を確定していったのは佐々木さん制作のスタックによる抽選器です。MMMならではの抽選会ですね。みんなに恨み無しで景品が行き渡り記念写真を撮って料理も平らげてしまったところ、時間切れで一次会の会場を後にして編集用の機材と一緒に引越をしました。二次会はメゾネットの一部屋を編集用に、もう一部屋をMeetingルームにして行なわれました。

メゾネットというのは部屋の中に二階の寝室に通じる階段があり、下は居室にもなる寝室で、今回のようにPublic Spaceが欲しい集いにはもってこいの部屋でしたが、なにしろ大人数なものですから上の写真のように階段にも、床の上にも、さらには入り口に立ったままという人も含め後半戦に突入したわけです。

MeetingはACJのお二人を囲んで日頃聞きたいと思っていたこと、要望したかったことなど、一応パネリストとコーディネーターを決めたディスカッションに自由に外野からの発言を許可するというルールで始まった話し合いでした。東北MUGの菅野さんがモデムポートのコネクタの修理を依頼したら、ロジックボードごと交換されたお友達の例を挙げて、ACJのディーラーへの技術教育の考え方を質問したところ、Appleにはlevel 1とlevel 2の二つの技術レベルがあって、level 1はアッセンブリーでの交換、level 2は部品レベルでの交換が可能でlevel 2は世界で3ヶ所の工場での技術サポートだということ。従ってディーラーはおろか、彼らにも資料がないことなど、insiderならではの話が続出しました。

辛辣な批評家ばかりがそろったなかに、たった二人で乗り込んで誠心誠意応えようとしてくださったお二人の姿勢に信頼を深めた話し合いでした。

これからのUser groupに対するサポートについて様々なプログラムを持っていること、しかしながら人的資源の不足によって徐々に実現するしかないことなどをお聞きし、最後にはACJとユーザーと建設的に協力し合いながら、充実したMacの世界を作って行こうと確認し合って終えました。

MMMmessage

MMM参加の皆さんからメッセージをいただきました。遅くまで入力有難うございました。

1才ちょっとの子供にマックを使わせてみたいと思っています。家族一人に1台を目指します。

関 (仙台)

最近SE/30を買った高島です。まだ気の済むまで使ってはいませんが、今まで使っていた98との違いがだんだん分かってきました。分かってくるにつれ、今まで思っていたほど大きな違いは感じられなくなってきました。原始的なコンピューターにはそれなりの面白さがありますが、PCはMacに近づきつつあります。特に最近米国で出たWindows Ver.3.0はなかなか評判がよいので楽しみです。

皆さん、始めまして。矢巾町在住の佐々木 健です。MMMは、初めてです。私はほとんどMacを使っていません。最近になってようやくMacというものがどういうものなのか分かってきました。皆さん、もっと私に、Macの知識を… ホテル安比grandは初めてきました。スキーできたこともないのに。とってもいいホテルですね。今度は素敵な人と来るぞ

斎藤秀行です。いつも、ニフティ・サーブなどでパソコン通信をやっております。(MAH01413)いつも使うのはニンジャチームなどだけです。シャローム(022-252-6048)にも来てください。

仙台から来たユーザグループに属していない三上と言います。某外資系コンピュータメーカーのSEをやっています。担当機種はAS/400。ご存じですか。

個人的には、やっぱりMacが大好きで、夜遅く家に帰ってからMacを起動しています。

仙台のユーザーの方、仙台のユーザーグループの方入会の仕方を教えてください。お願いします。

千原からはるばるやってきました山本です。Macのそばにさえいられば幸せという単純な人間なので、今日は1日幸せです。本年10月の新機種発表で果してユーザーとなれるかどうか乞うご期待というところでしょうか。

私が小笠原です！と唐突な出足で始めましたが何を隠そうマックを持っていない会員なのです！？でも会社にIIcxだのIIciだのやたらとマシンがあるのでつい帰るのが遅くなっている今日このごろです！

話が変わりますが白石さんにウイルスの運び人と呼ばれております。近いうちにIIfxのユーザになりたいな！と思っております。(今手持ちのPC-9801VXがやきもちをやくかも…?)酒好きの私ですが今後も宜しくお願いします！

Macユーザーになってから早くも2年余。それなりの費用も掛りましたがMacとMacが取り持つ世界との関わりが嬉しい照井です。

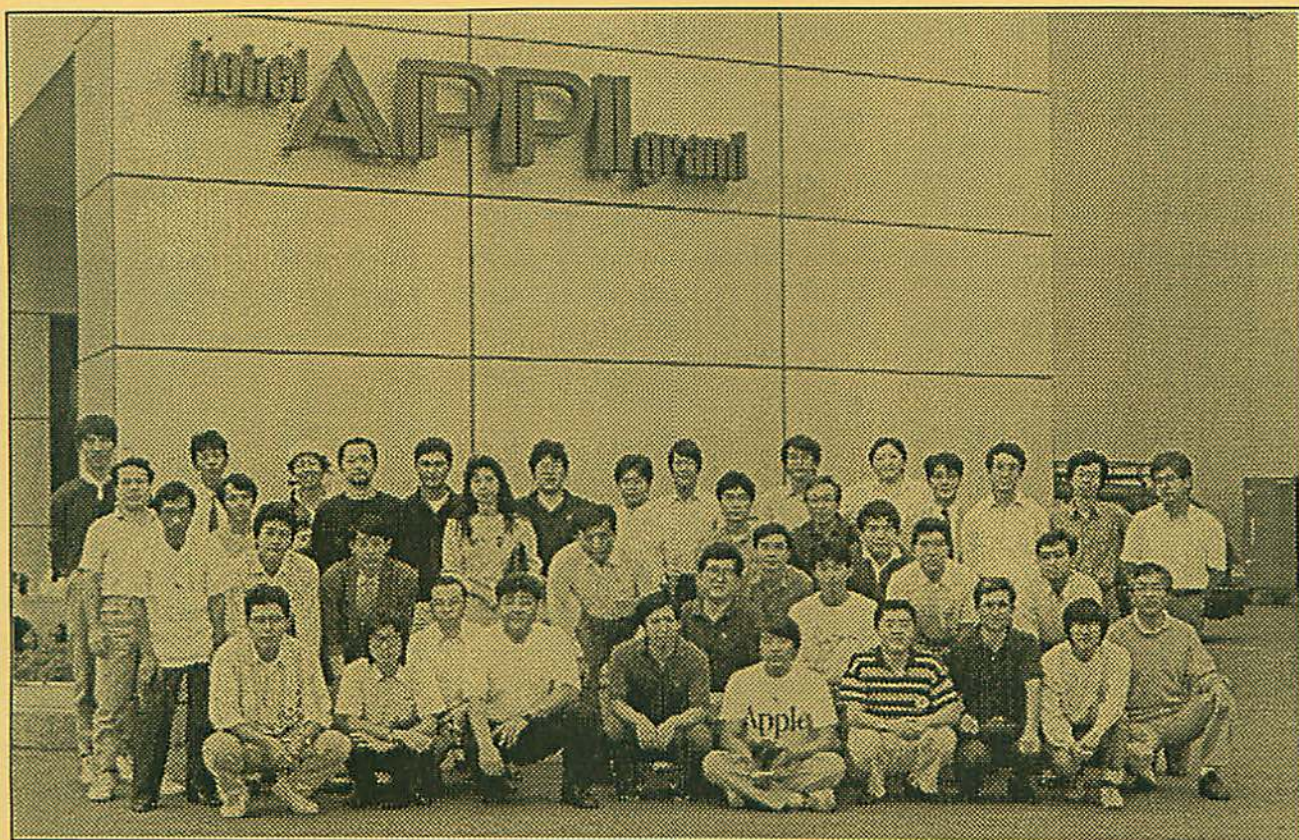
ここには、不思議な人種がいる。そして、ここに新しいコミュニケーションが生まれた。

孤独な集まりなのだろうか、それとも、何かが生まれるのだろうか。1990年9月22日 安比にて。(大河原清)

はじめまして、東北MUGの小林です。いつもは、Macを大人の玩具として使っています。

いつかは、最速マシンをと思っていますが、まず女房の許可がえられなければなりません。





この辺のノウハウをどなたか、ご教示いただけませんか？
Macのプログラミングより難題です。

Nifty: NBC01457 小林 栄



オシャレなAPPIでのお洒落なMacの集いは盛会でした。また来年もおしゃれいきたいですね。
(藤村 洋)



はじめてIMFの皆さんとお会い出来ましたが、盛岡BBSや林檎を見ているために初めてお会いした感じではありませんでした。安比でのski は最初できた年から毎年来ていますが、初めて安比grand hotelに泊まることができました。会も楽しかったのですがhotelの部屋もすばらしかったですね。家族を引き連れてもう一度来たい。STUFFの皆さんにお礼をもうしあげます。これからも宜しくお願いします。 秋田県能代市 渡辺浩志



昨年忘年会のときは、Mac Plus/SEがオンパレードだったのに、何と裕福

な人種だろうな！このグループは…

和田 勇



前田です。

なんというか、Macの引力というか、魔力というかこれだけ色々な人を引き付けるコンピュータは他にないんじゃないのかなと思います。

ああ、会社でも広めたい。



マックの仲間が集まると、こんなに盛り上がるなんて。今晚は夜どおし、色々マックについて話して普段ユーザの顔をして使っていない、せめてもの罪滅ぼしをしたいな。

最近My Macを職場に置いて使っているのに、まともに自分のやりたいことをやっていないので、かなりフラストレーションがたまっています。

自己紹介でどなたかがおっしゃっていましたが、Macを使うと確かに良い仕事は出来るのですが、それに比例して作業量が格段

に増えてしまいます。もっとも、DOSマシンではとてもとても足元にも及びませんが…

高橋



マックプラスが、わが家にやってきてから、早や4ヵ月。

いまでは、3台ある旧八と、2台のワープロはすっかりホコリまみれとなっています。ああ、もっと早くマックを知っていれば、無駄なお金と時間を使うこともなかったのに…残念無念。今日は、MMMに参加できたうえに、6年ぶりにスカッシュもできたし、楽しい一日でした。 遠山 明人



ただいま0:25です。もうすぐ皆さんの原稿ができ上がりそうですので、お風呂あがりのさっぱりした体で、編集しようと思います。ああ…はやく眠りたいなア～

IMFで1番若いつもり

の熊谷 朋也でした。

突然ボラロイド写真を撮らなければ、と勝手に思い込み、花しか撮らないカメラを色々いじくりまわして見ました。リンホフ、プロニカを使いましたが装備の割にはたいしたことない写真しか出来ませんでした。フラッシュを大型にして、人の写真撮影も研究して見ます。 佐藤

MMMは今年で2回目、東北に来たのもこれが2回目です :-) やはり、秋の東北はいいですね。今年は、泊り込みでしかも、去年にも増して熱狂的な集まりで楽しかったです。またお会いできるのを楽しみにしています。帰ったあとは、日経MIXでmac.sw会議でお待ちして居ります。 諏訪 (ssuwa)

いやはや重かった。3セットも持ってきてしまっ。MacPlusとSE/30それにAppleII、21インチモニター、MIDIキーボード、その他もろもろですごい重さだった。白石

残念なことに遅刻をしてしまいました。どだい何時から始まるのかさえ確認しないまま、適当に出発したのが敗因です。おまけに高速道路をどこで降りたら良いのかもろ覚えのまま松尾八幡平で降りました。ゲートのおじさんに道を聞いたら左に曲がれと。その先に何か標識でもあるのかと思ったら何にもなし。あたりは人家も無いし真っ暗。道は聞きながら行けば良いやと考えていたのに、聞くべき場所がないときた。しばらく走って遥か彼方にガソリンスタンドらしき灯りが見えたときにはホッとしました。聞けば次の信号を左に曲がれば良いとか。これは近いなと思ったのがあさはかでした。次の信号までが長いこと。この道には信号があるのかしらと思ったころ、ようやく現われました。

道々考えたこと。岩手の実態はこう

だったんだ！この山の中というのが普通で、灯りのついた人がたくさん居るなんて状態は特別な場所だったんだ！甘いぞ甘いぞ、錯覚しちゃいけない。しかし東京からのお客はまだ明るいうちにこの道を走ってくれてよかったなア。明るいうちなら緑の多い良い場所だけど、夜だけは走るもんじゃない。久しぶりに暗闇の恐怖を味わった福田です。

はじめまして、木本ことHeroと申します。横須賀に住んでおりました。はるばる安比までやって参りました。このオフは、日経MIXのボードで知ったのですが、いつもは、NIFTY-Serve、マックビギナーズフォーラム (FMACBG) のRT (リアルタイム会議) に毎日出ております。よろしければ、いらしてみして下さいね。歓迎致しますよ。木本博喜

仙台から今年も来ました。昨年に続いて岩手マック友の会の皆さんのパワフルな活動ぶりに感激いたしました。



MMMをぜひこれからも続けて開催していただきたいと思います。

東北MUGもまだまだ健在です。

菅野淳一

Meet the Mac in Michinoku 御盛会おめでとうございます。アップルコンピュータジャパンといたしましても、ユーザーグループのサポートに今後力を注いで参りますので、御支援のほど宜しく御願ひ致します。野村(AJ)

ズラッと並んだMacは壮観でした。けれども、Plusが一台も無いのは時の流れですね。あせつちゃうなあ。(本当は一台ありました。)

来年も皆さんよろしく。

佐々木 (幸)

来年はどんな機種がどんな値段で出ていることやら、楽しみです。

編集会議新記録4時!! 徳富



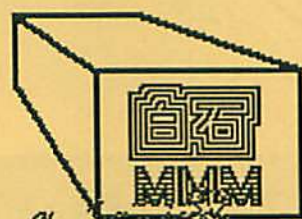
安比よこいこいちはあいで H.Saito



Dr.K

東八まん平おいしいてき 109103

😊ようこそ
安比へ
冬はスキーに
どうぞ
(太河原)



XIM@GalsnyMIX



やみつきになってしまった
またやりましょう 照井

Meet the Mac in Miyagi 91
なんて、したいですね。



SeKi
遠いところようこそ!
おかげさまで賑やかな
MMMになりました。

我々のMacが 野村
皆様に愛されていて
とても嬉しかったです。

ACJ 中嶋



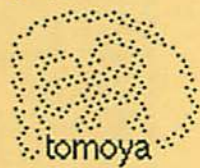
へ 2だの3だの
ほいほいどしほす
足しげん、休の本(寺)



MMM90

お酒が大好きな青山です今年もたのしかった。
ヨロシク

MiyagiのMacの会
Honor



ひげのふの字デ
CADたかはしです!

公園通りにはドゲがあります
この界限をサイエンマックの会といいます
佐々木(吉)

遠くからどうも。 岩手の皆さん有難う!
おかげさまで普段には聞けない
話がたくさん聞きました。
高島浩一郎

楽しかったです。
また来ます。 suwa

東北MUG 菅野

来年も是非お会いしましょう。
佐藤

あたたかな
フリース
佐々木 健
ゾース

ここに泊まって
skiをしたい

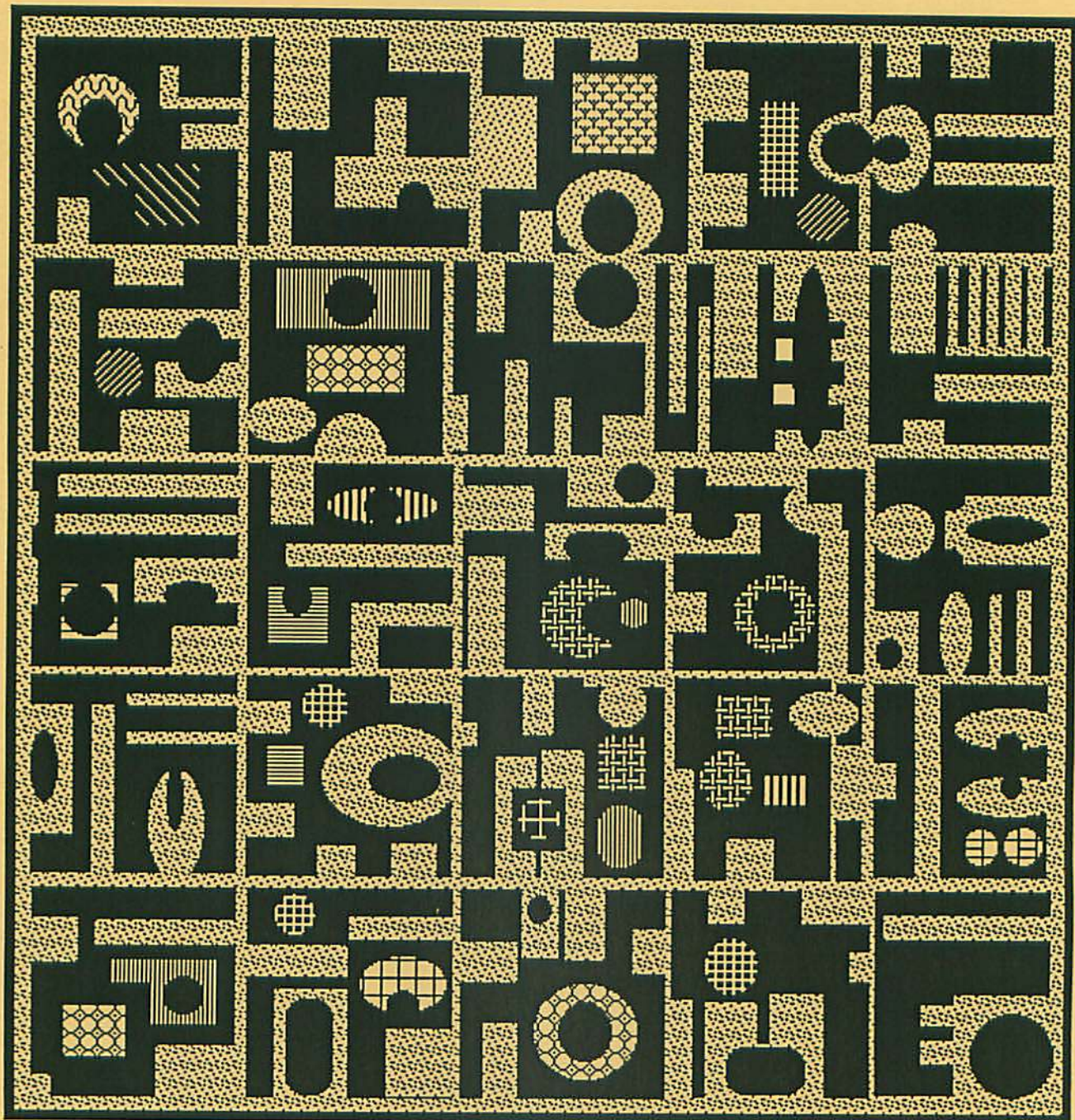


金がな——い
おがとむらひやひこ
がっちゃん

のしるき世



リンゴギャラリー



1990-9-MASAO-SEGAWA

紅茶・コーヒーなどを飲ませる店。喫茶店（きつさてん）。

--- 出典：広辞苑 電子ブック版（岩波書店） ---

へへへ、マックで読めるようになったのですよ！ 凄いでしょ！



勝手なコラム....



今回の茶房は、今までと少し趣を変えて、思い付くままに纏まりの無い無駄話を書き綴りたいと思います。

あたかも喫茶店のマスターとの当たり触りのないヨタ話のように...

火の国：熊本

先日、熊本へ行ってきました。熊本のマックおてもやんクラブ(MOC)が主催するMocWorldの視察に、と言えばカッコ良いのですが、自分でお金を出して行けるほど裕福ではないので、行けないものと指をくわえて見ているところだったのですが、思わぬところから招待されて見に行くことができました。

実は私は、全国から会員2,000人以上が入会しているソフトウェア技術者協会（以下SEAと略）の常任幹事の一人なのですが、やはり、この常任幹事である熊本の平尾さんから、突然の電話で、「MocWorldにSEA九州支部として共催で、セミナーを併設するので旅費だけしか出せないが、マックのことで何か喋りに来い」というので、話す内容も無いまま、しがらみで断り切れず引受たのです。

セミナーで何を話したかは、自分の無力を暴露するので割愛して、Macおてもやんクラブと、MocWorldの感想を話します。

MocWorld

会場に入って驚いたのは、アップル社を初め、各ソフト/ハードメーカーのブースが沢山あったことです。ここは1小間5万円で貸しているもので、今回のイベントの経費は全てこれ

で賄うということでした。このイベントの一般見学者は入場無料ですから本当にそれで賄うしかないのです。

このほか、パソコン通信体験コーナー無料の飲みもの、アップルグッズの即売コーナーなどがあり、かなり楽しめるものでした。MOCのメンバーがチェロを持ってMac+MIDIの伴奏に合わせてアンサンブルを演奏しているのも素晴らしいものでした。

この一角を区切って、セミナー会場にして、NTTの方のISDNの話とか、SRAの方のMacでのネットワークの話などがありました。

1日目が終わった夜のパーティでは最高の盛り上がりを見せ、流石は火の国のユーザー会と、その熱気を感じました。

教訓

今までIMFでの、イベントや例会などの活動の原点は、会員の利益のことが先に立っていました。しかしMocWorldでは、会員は市民（県民）へのサービスとして、私たちはこんなに素晴らしいコンピュータを普段使っているのに、皆さんにも紹介したいという精神でイベントを企画しているのです。

こういうイベントが開催できること自体が素晴らしいことですが、ユーザー会が自分達の利益のためだけでなく、一般の人達の為のイベントを開くという姿勢に深い感銘を受けました。

阿蘇と田楽

セミナーを終えた翌日、平尾さんのご好意で阿蘇の観光と洒落こみました。阿蘇は最近火山活動が盛んになっ

て火口には行けませんでした。外輪の上に登ってその全容の大きさに驚きました。

阿蘇で意外だったのは、外輪の中の奥の方にある田楽村というところで昼に御馳走になった、田楽です。熱い地方の田楽というのは、いささか抵抗があったが、勧められるままに田楽保存会が経営する古い民家の中に入って囲炉裏を囲んで田楽を食べたのですが、これは最高の感激でした。味もさることながら、民家の風情といい、開け放した障子から吹き込む涼風の心地良さといい、外の緑の爽やかさが気持ち良く、フルムーンには是非足を運びたいものだと思います。

だんご汁

食べものの話が出たついでに、もう二つ。実は熊本に行ったら食べたものとして、馬刺しとカラシ蓮根がありました。大好きなカラシ蓮根はシーズンでないからと忠告されるまま諦めたのですが、馬刺しを食べようと夜の繁華街を徘徊しているうちに、やたらと「だんご汁」という看板が目についたので、馬刺しと両方メニューにある店に飛び込んで「だんご汁」を食べて見ました。これは一口で言うと、味噌味のすいとんでしょ。これも田楽村で出てきたのが最高に旨かった。

桂花ラーメン

九州拉麺の旨い店として有名な桂花へ行って食べましたが、これは博多の方が絶対に旨い。あとで見つけたが盛岡の大通りに、同名の店があったがこの店とは無関係でした。

私のMac Life

....by Takuya Kanno

ここに寄稿なさる皆さんはそれぞれ個性を持ったすばらしいMac Lifeを楽しまれているようですが、私の場合ちょっと様子が違います。特にファインダーをカスタマイズしているわけでもないし、面白い仕掛けなどなにか一つありません。これでは記事にならないので、普段の仕事での私のマック利用法を紹介することで「私のMac Life」を知っていただきたいと思えます。

私の仕事は、プログラマーから、システムエンジニア、システムアナリストと職種をかえています。要は、年を取るに従ってプログラムが組めなくなり段々理屈っぽくなって来たというだけのことであります。アナリスト（実は勝手にこう名乗っている）の仕事は、コンピュータを利用しようとするユーザに対し、どう利用すれば効率良く仕事が進められるかを解析し、報告書にまとめると言った仕事です。報告書を作成する場合、ユーザに分かりやすく正確に伝えることの出来る資料が要求され、マックのDTP機能はまさにこれにぴったりの道具だったわけです。

まずは、機器の構成です。最初は自分のMacintosh SE 2.5M RAM 20M HDで作業をしていたのですが、報告書をより魅力的に仕上げるには、どうしてもスキャナとレーザーライタが必要になり、ついでにMacintosh II 5M RAM 40M HDを付けて会社に無理を言って購入していただきました。作業を拡大するに連れて、Macintosh SE/30 5M RAM 40M HDを加えて現在は3台のマックファミリーで作業しています。関与している社員が4名で少々足りない場合もありますが、譲り合い(?)でなんとかやっています。それでは、さっそくその仕事をご紹介します。

スケジュールの作成



Project

作業を進めるに当たってスケジュールを作成しますが、このときに活躍するのがMac Project IIです。このプログラムは、作業単位に、日程、資源を割り当てて作業工程のフローダイアグラムを作成するものですが、様々な作業工程表、資源割当表などが即座に作成される非常に優秀なプログラムです。特に役立つのは、作業の途中でスケジュールの変更が発生したとき、変更の合った作業の日程、資源を変更すると立所にすべてのスケジュールを変更してくれたり、スケジュールの論理的な誤りを指摘してくれたりする機能です。スケジュール表も自動的に作成

できるので、表の書き直しの手間が省け、非常に便利です。

報告書作成



マックドローII 1.1

次に報告書の作成です。報告書は分かりやすく作るために図、表、写真などを多用して作成します。図の作成にはマックドローII、Illustrator88、Canvasをつかいます。概要図、説明図など細かい細工をしないものはマックドローIIを使います。特に直線、双曲線などがきれいに描けるので便利です。



Adobe Illustrator 88 1.9.3

自由曲線を使った繊細な絵を描くには何と云ってもIllustrator88です。自由曲線を滑らかに各プログラムの中では、これの右に出るものはいないと思っています。また、下絵を使ってきれいにトレースすると言った作業は、このプログラムを使っている人達にはほとんどストレスを感じさせないものだと思います。事実私もこのプログラムを利用するときは、余りの心地良さに、つついのめり込んでしまい作成予定時間をしばしばオーバーしてしまいます（要注意）。また、このトレース機能とスキャナを利用することによって、手書きした図面などからベクトル図の美しい図面を作成することが出来ます。スキャナで取った絵は、ご存じのようにPICTタイプのファイルのため、絵としては一応満足できるのですが、正確でクリアな絵が欲しいときは、やはりベクトル図が欲しくなるものです。レーザーライタを出力に使う場合は特にそれを強く感じます。

そこで、スキャナで取った絵を下絵にして、トレースすることによってきれいな図を完成することが出来ます。Illustrator88は、ベジェ曲線の方式を取っているため、曲線のアレンジが座標につくハンドルの長さ、角度によって行なわれるので最初ちょっと戸惑いますが、慣れると非常に気分良く作図できます。Illustrator88の話が長くなってしまいました。

ここでスキヤナの話が出たのでついでに写真の取り込みについてちょっと。



EpScan Mac 1.01

写真は作業現場での作業方法や、状況表現するのに非常に説得力があります。この写真の取り込みはこの「林檎」編集長の徳富さんが以前に紙上で詳細を報告していらっしゃいますので割愛いたしますが、そのときの記事が非常に役立ちました。これからスキヤナを使われる方はぜひご一読ください。



Canvas 2.1

次にCanvasです。

CanvasはアプリケーションタイプとDAタイプの2つのプログラムがあり、私はDA版を多用します。Canvasは絵をかくプログラムとして非常に優秀なプログラムですが、ただ一つアプリケーション版の方は、FEPとしてEGBridgeが満足に動かないと言う理由(原因をほとんど調べていない)で現在は、DAを多用しています。DA版も日本語入力に若干の不都合があるのですが、他のアプリケーションとのやり取りなどが非常に便利です。



Microsoft Excel

作図の最後は表です。日本人は表が大好きです。表を作るときは、皆さんもよく使われているEXCELを使います。最近のEXCELは性能が向上しどんどん使いやすくなってきています。一旦EXCELで作成した表を選択してシフトを押しながら編集メニューをプルダウンすると「コピーピクチャー...」が現われるので、これをクリックします。このとき、私はプリントイメージでデータをセーブしますが、罫線を引かずに作業をすると、ペーストしたときに罫線が破線になることと後々の修正に不都合が生じるので、罫線は引いておいたほうがよいと思います。さて、このようにして出来た材料を元に、文書を作ります。私の場合手書き原稿無しで作業をしますので、最初に作ったこれらの材料が非常に役立ちます。文書作りにはアウトラインプロセッサのVoilaを使います。これは皆さんそれぞれにご意見があるよう



で、様々な場所でどのプログラムがよいか相談しますが、ベストプログラムを選択するのはかなり難しいようです。私は文書作りがへたなので、節を適当に作っておいて、気が向いたところから書くのが好きなのでVoilaを利用しています。最近システムを入れ替えたりMultiFinderを利用したりするためか、時々爆弾を食らうので困っています誰か教えてください。



PageMaker 3.0J

全部整ったところで、文書編集プログラムとしてPageMakerを使用します。

実際は、これらを全て整えてから編集するのではなく、出来た都度に作業は進めています。この編集作業が結構大変で、文書の流し込みによるページ設定の変更、図版の設定など様々な編集項目が出てきますが、このときが一番面白いとも言えます。PageMakerも最近バージョンアップされて色々なことが出来るようになりましたが、欲張って言うなら、用語索引が自動的に付けられたらいいと思っています。個のようにして作成された報告書は出来上がりで、約150頁程度の報告書となり、付表、詳細仕様なども入れると200頁を超える大作となってしまいます。これに表紙を付けて一冊の報告書にまとめ上げたとき、出来上がりの満足感もさることながら、マックがなかったらこんな仕事は出来なかったらと思う心と、マックに対してある種の感動を覚えます。私は、特に自分がマックフリークであるなどとは考えていないし、そんなにこのコンピュータを使いこなしてるとは思いませんが、自分のやりたいことを実現できるコンピュータであることは確かです。でも、マックはコンピュータと言う言葉がどうも似つかわしくないと思うのは私だけでしょうかねえ...

シラネアオイは日本にしかない固有種で、一科一属一種という他に似た物がない珍しい植物です。花は美しい紅紫色、その直径は5~10cmと山の花の中では大きめです。本で日本特産とあるのを知り、是非見たいのものだと思って2年目に花巻台温泉の裏山で一つ偶然に見つけました。その紅紫色はカタクリの色と似ているという印象でした。その後、秋田駒ヶ岳の通称ムーミン谷で5,6輪の群落に出会ったのがこの写真です。

先日、秋田駒ヶ岳から千沼ヶ原へ山を三つ越えていく途中で行き合った中



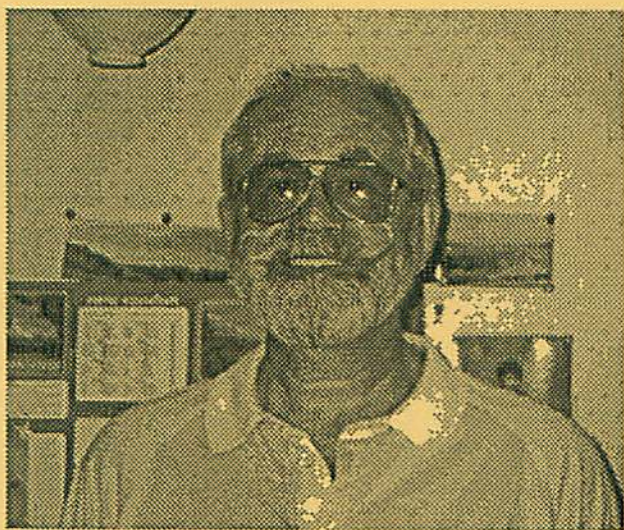
年過ぎのご婦人に「ムーミン谷」と言うと、「それはけしからん、あそこはモリアオガエルの谷とすべきだ」と主張しておりました。なるほど生物学的な見地からするとそうなるのかも知れませんが、アニメのムーミンはとても優しい雰囲気があり、あの谷に似つかわしい感じがしました。反論しないでいましたら、お昼に味噌汁を御馳走になり、ますます「ムーミン谷」と言いくくってしまいました。



One way to Peace

...by Dick Harry

Recently I went to Saitama Prefecture to spend a couple of days with my young friend who is leaving Japan to go to another country. He is a young man who is from my home state of Oregon in the United States. He has been living in Japan for almost 3 years and working in Tokyo and being a part of the "salaryman rat race". However, he has quit his job and will be going to Thailand to live and study in a Buddhist monastery. I asked him why he felt the need to make such a big change in his life and he said that he needs to feel that his life has some more meaning than just working as a salaryman in Tokyo. Also he has only lived in countries of great wealth (America and Japan) and feels that he needs to know more about how people in poorer countries view life. The Buddhist teachings in Thailand, so he tells me, are more closely attuned with the original teachings of Buddha, and he feels that what he learns there will be more helpful to him as he continues his search to make his life more meaningful.



People often ask me why I came to Japan. It is not, to find more meaning for my life. My life has had and continues to have a great deal of meaning. But I did come to Japan in response to an invitation from the Japanese people to teach English. I came not knowing what this place would be like and not having even studied the language. But I came with the faith and knowledge

that the Japanese people are truly beautiful in every sense. And I have found that many Japanese people have been willing to accept this strange foreigner for what he is, and not what he should be, by some rigid standards. True, some people look at me and think, I'm sure, that I should have stayed in America. But most people here do accept me for what I am, and I have made a good many friends among the Moriokan people. My life has changed much in the past 3 years, and it continues to become richer day by day. Thank you for being such good friends. I am sure that the more people get to know other people, our neighbors or foreigners, the closer the world becomes to establishing a true world peace.





Marathon

WORKSTATION PERFORMANCE

とりつけ 奮戦記

なるほどゴールは遠かった。 by 徳富亘

MacPlusは往年の名器ですが、最近のSystemの増大振りとワープロやDTPソフトやDrawingソフトの大型化が進む中で、スピードの遅さはいよいよ致命的になってきていると感じさせられている今日この頃です。

この2,3年、何種類ものアクセラレーター(Macをハード的に速くするためのボードのこと)が矢継ぎ早に発売されては消えていきました。

最近アメリカから発表されたものの一つにDoveのMarathonシリーズがあります。これはCPUに68030を使ったものなのに、破格の安価で売られています。

今回カミさんの家計簿や子供のゲームに使っているPlusに付けるためにMarathon 030 for Plusを取り寄せて試してみました。簡単なはずの取り付けでしたが、いざやってみると、予定通り動いてくれません。それで仕方がなく、前回の例会会場に持ち込み、皆さんのご意見を仰ぐことにしました。ちょっとアクシデントもありましたが、最終的にはしっかり取り付けることができ、現在も快調に動いています。

また、Marathonを入れるのをきっかけに4MRAMにしましたが、その発熱量が多いので、最近、外付け冷却ファンであるFunnyMacQTを併用してPlusの延命をもくろんでいます。

以下にその顛末を報告させていただきます。



で はさしあたって、Marathonを選んだ理由からお話しをはじめることになります。

まず、なんと言っても他に比べて値段が安いことです。それから68030を使ったアクセラレーターはそれまでジェミニしかなく、かなり速くなるかわり、値段も張るし、インストールにも半田づけが望ましいなど、決して手軽とは言えないものであったことが、手を出しにくくしていました。

その点、Marathonは、\$449で、なんと約7万円弱です。インストールも専用ソケットをはめ込むだけという手軽さです。おまけにSUM-IIとSAMが付いてくるというサービス振りで、もし、あなたがまだSUM-IIもSAMも持っていない、いつかはそれらを欲しいと思っていたとすれば、Marathonを実質\$200たらずで購入できることになります。

購 入先はMacConnectionです。奇麗できちんとした見積りを出してくれるのが気に入っています。また、ちょっと納品が遅れそうときには、わざわざ葉書でその旨連絡してきたり、「キャンセルする場合はこの電話番号にしてください」と言ってきたり、こまめな配慮をしてくれるので、大変安心感が持てます。

届いたMarathonを、説明書にしたがって取り付けました。Plusの分解組み立ては普段自分が使っているProdigy4の整備などのため飽きるほどやっていたので、困ることは何一つありませんでした。まだなにも挿入されていないPlusの内部はまったくがらん

としていて、改めて驚くほどの空間です。Prodigy4を組み込んだほうのPlusとはエライ違いです。この空間を無駄と感ぜない設計思想が、発売後の発展可能スペースとして生きて行くのだということが実感されます。それは、SE/30やMac IIにも引き継がれ、息づいている基本理念だと思います。

実 際の挿入に当たっては、裏蓋を開けMacの底の部分に入っているマザーボードと電源ポートをつないでいるコードなどははずします。それからマザーボードをシャーシーから引き抜きます。もちろん、それに必要な情報は説明書に記載されています。

Marathonの装着に先立ち、RAMを全部はずさなければなりません。装着するとき、邪魔になるからです。

ちなみに自分は1M SIMM 2枚と512K SIMM 2枚と言う構成でRAMを使っていました。

こうしてインストールは終了したものの、Macを組み立て、スイッチを入れてもいつもの「ボン」という音がしてきません。それどころかサドマックが出てしまう有様です。これはお手

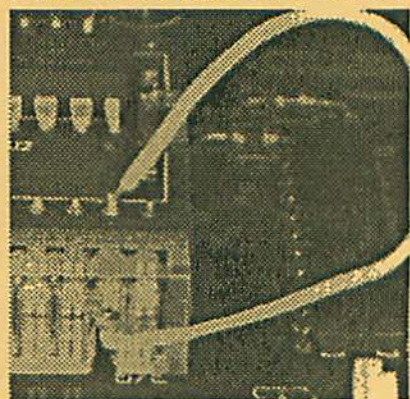


図-1: 手製ジャンパー線

上げです。どうしようもなくなった Plus を携えて IMF 例会に出席されてる 会員諸兄のおお恵に望みを託すことに 致しました。

例 会では、まず自分の Mac に問題 があるのか、MaraThon に問題 があるのか明らかにするため、野村さ さんの Mac に MaraThon をインストール させていただくことになりました。熊 谷さんの名アシストに助けられなが ら、自分の Mac から MaraThon をはず し、それを今度は野村さんの Mac にイ ンストールしました。プラスチックが ギシギシなるのをだましまし、手に 汗握る作業でした。どうしてかといえ ば、MaraThon のインストールは一度 だけにしてくれとマニュアルに書いて あったからです。ソケットは一度だけ のインストール用に作られていて、何 度も行うのは望ましくなというからで した。実際、プラスチックソケットは 今にも割れてしまいそうな感じでギシ ギシ言い続けました。

めでたく作業を終え、電源スイッ チを入れると、あのいつもの「ポー ン!!」という音がするではありません か。野村さんの Mac は 4MRAM でした のでややしばらくの沈黙の後に、これ までいつものニコニコマークが現わ れ、見事に立ち上がりました。

はじめて目のあたりにする Mara- Thon のスピードはなかなかのもの で、Plus が随分キビキビした感じに なりました。特に Finder 上での file の open close がとりわけキビキビした ように感じられました。また Plus では ちょっとのろい感じがする Turbo-Jip の文字入力もかなり改善されたよう に なりました。

ひとしきり、いろいろ MaraThon の 動作を試した後、今度は再度自分の Mac に MaraThon を移植することに なりました。

2 回目は、インストール作業にも慣 れと余裕が生じ、比較的容易に、しか しそれは確実に作業が進められまし た。ところが、野村さんの Mac から MaraThon をはずした時に、ついに

ちょっとしたハブニングが起りました。ソケットの中の一番端のピンが 1 本、グニャリ! と折れ曲がっていたの です!! そのままではうまく接触でき ない可能性がありましたので、なんと かけて伸ばそうといじっていたら、今 度はそのピンが根元から折れてしま いました!!!

この時の自分の悲鳴と、皆の驚きは この夜のもう一つのハイライトでもあ りました。

しかし、諦めないのが IMF 魂、と言 わんばかりにあれこれ打開策が続出 し、それは本当に心強く、大いに励ま されました。最終的に、その場は銅線 をよじって折れたピンの代りに押し込 んで装着しました。

ところがやはり自分の Mac では立ち 上がってくれません。どうしてなのか いやいよ困り果てていると佐々木さん が、68030 は SIMM ソケットに 4 枚皆同 じ容量の RAM が入っていないと駄目 なことを思い出してくださいました。

そこで野村さんの 1MSIMM を 2 枚お 借りして自分の Mac の 256SIMM と交 換し、4M としてもう一度スイッチを 入れると今度は「ポーン」とうれしい 音をたてて走り出してくれました。

この時すでに夜中の 12 時を回って いました。最後まで会場をお貸し下 さったキズヤさんと、お付き合いいた だいた IMF の皆様に改めて御礼申し上 げます。

さ て、意気揚々と家に帰えり、う まく行ったところをカミさんに 披露しようとしたのですが、あいにく うまく動きません、いろいろ check し てみた結果、やはり折ってしまったソ ケットのピンの接触不良が原因と思わ れたので、銅線の代りにアルミホイル を固く巻いて差し込んでからインス トールしてみると今度はうまく立ち上 がりました。ほとんど子供のプラモの 世界ですね。

しかし、しばらく走らせ、Mac が熱 を持ってきたころ、システムエラーを 起こし、またもこのようになり、立ち 上がらなくなってしまいました。

これは、やはり折れたピンの部分の 接触不良が原因と思われましたので、 遂にジャンパー線というんですか、折 れたピンの部分のソケットを削り取り 脇からビニール線を通して半田づけを したところ、動作がようやく安定しま した。(図-1 参照)

そこで、以前「林檎」No.2 でアク セラレーターを check した時と同じ方 法でスピードをはかってみました。

E G-Word での書き換えが 1.3 倍、 Excel の表計算と ASLTalk の 24KLog スクロールが 1.7 倍で、残念な がらオリジナル Mac Plus に比較して 2 倍まで速くなっている項目はありませ んでした。しかし、使った感じとして は計測値以上のものがあるなど感じま す。全体的には下馬評通り、値段相应 の性能だと言わざるを得ません。けれ ども、計測値には現われないプラスと して MultiFinder を使ってもスピードの 低下をあまり感じないのは、おそらく 030 ならではの事で、安価にバーチャ ルを使うのには良い方法だと思いま す。System 7.0 にも対応可能とのこと ですので、手軽にもう少し Plus を速く してみたいと言う方にはお進めできる かもしれません。

また、MaraThon 030 には、専用の INIT が付いてきます。これは、68030 の内部 Cache の on & off などに使いま すが、これなしでもちゃんと立ち上が りますし、アプリケーションも走るこ とができます。また、プログラマーズ スイッチを使うと MaraThon をキャン セルして 68000 モードに切り替えるこ ともできます。

また、このテストの最中に気付いた 事なのですが、前回「林檎」の中でご 紹介した Removable HD は、これ 1 台 だけで使うのでは、メリットが半減し てしまいます。また、前回購入価格を 書き忘れましたが、カートリッジ 1 枚 付き本体 \$699、カートリッジ 1 枚 \$89 を 10 枚買いましたので、合計 \$1589 (約 24 万円) になりました。

これで約 500MB です。

(終)

HEADWAY

照井 芳夫



MacPowerの広告ページでメモリー-SIMMや椅子などの通販の広告を、それも他社よりかなり安い価格で出していて、住所を花巻市に置いているあの謎の「ヘッドウエー」の社長との単独会見（週刊誌風に言えば）に成功しました。

MMMの興奮も醒めやらぬ9月24日午前9時、まずは花巻市の住宅地図を頼りに「岩手県花巻市台第2地割322」を目指しました。地図には該当の番地の記載は無く、やむなく近い番地の所に車を進めましたがこれがとんでもない山の中で、これ以上は4WD車でないと無理という所でリタイア。失敗記の原稿を頭に浮かべつつその辺りの写真等撮って帰りかけましたが、途中電話ボックスを見かけた所で思いきって普段は誰も出ない花巻局番の電話（会員のM氏のみ一度コンタクトが取れたことが有るそうです）にダイヤルして見ました。呼び出し音5回目で諦めかけたとき聞き覚えの有る女性の声（以前SIMMを注文した時の声）で応答が有りました。電話をした目的を告げ訪問したい旨お願いしたところ快く受けて頂き早速伺いました。

場所は私のかねての予想どおり花巻温泉入り口の分譲地の中



長谷川社長宅

でしたが、住宅地図では違う番地になっていましたし、入居者が殆ど地図に記入されていなかったのが分からなかったという訳。すぐ近くをさっき通ったばかりだったのに……

訪問すると奥様のお出迎えを受け早速上がらせて頂きお話をうかがいました。

企の企画が持ち上がった時の理由は「なぜ花巻の住所で広告しているか？謎のヘッドウエー」という疑問を解き明かす事だったので、先ずその辺りからお聞きしました。

第一の理由は通信販売のマーケティングリサーチが目的とのことでした。雑誌の広告で東京圏の住所で出すのと地方の住所で出すのでは、反応に違いが有るのだそうです。今回も明らかに花巻を中心とした東北地方からの引き合いが多いとのことでした。

ではなぜ花巻なのか？これは有る程度偶然の要素が大きいのですが、2年ほど前怪我のリハビリを兼ねて花巻温泉に来た時、ホテルのフロントで分譲地のチラシを見つけ、翌日現地を見てその場で購入を決めましたとのこと。以来月に1~2度来て居られました。花巻が気に入られた様で、今後さらに売り上げが伸び市場が期待出来る様になった場合は店舗を設けることも考えるとのことでした。

次にあの値段の秘密についてお聞きしました。

先ず「皆が必要とする物をアメリカと同じ位の価格で提供する」という大きな目的を持って居られます。又、自分の粗利は何パーセントと決めそれ以上は儲けない様になっているとも……

発売当初は国内のサプライヤーから仕入れていましたが、その後アメリカのサプライヤーに変えたそうです。価格の決め方は、工賃（基盤を含む）とICチップを別々に計算する方法を採り、チップの価格はその月の総取り引き量で決める方法で、MacのSIMM以外のチップも数に入れて計算されるとの事、又売値は雑誌が発行されて注文が来る時期に実際支払

う価格を予想して決めているそうです。広告の原稿締め切りが3週間ぐらい前なので結構リスクの大きいやり方だと思えますが、失敗は一度だけだったとのこと、完全に脱帽です。

ところでどんな人物なのかが気になると思いますので簡単にプロフィールを紹介いたします。

お名前は「長谷川 晃」さん、元はプラント設計をやっていたそうですが、今の本業は千葉県市川市でICチップ、OA機器、OA関連用品を輸入も含めて取り扱う会社を運営されて居られます。「ヘッドウエー」はその会社の香港に置いてある現地法人の社名をそのまま使ったとの事で、あの広告の椅子や、GT-6000等もこれで納得がいきました。



長谷川社長ご夫妻

私が最も心を引かれたのは長谷川さんの商哲学。

MacPowerの広告をもう一度見直してください。価格は「消費税送料込」となっています。本当は送料は全国同じでは無いのですが「平均」を使用し近い人には遠い人の分を少しお手伝い頂くださうです。電話をフリーダイヤルにしているのも遠近格差を無くす為ださうです。「アメリカ並の安さで誰にでも同じ価格で」の思想です。

素顔の長谷川さんはやはり古くからのMacユーザーで日経Mixの林さんとも親しいとの事、なんと会社ではあのPIXEL-DiOを持っているそうです。

将来の事業展開の構想も沢山お聞きしましたがこれは構想段階なので公表できません。その変わりといっでは何ですがIMFの皆さんに、Mac用メモリー-SIMMは数が4個以上まれば送料が安くなるのでその分値引きするそうですし、IMF価格を考えて見ようかとお話しもありました。

新しい周辺機器購入チャンネルとし発展する可能性も有ります。詳しくは例会の場でもお話しいたします。

最後に、突然の訪問にも関わらず長時間に渡って貴重なお話を頂き、写真の撮影にも快く応じて頂いた長谷川さんご夫妻に感謝申し上げます。





余計なお世話

...by 野村行憲



マックの顔を変える...その2

今回はいよいよ禁断のプログラム ResEditを使ってみます。(いいのかなあ、こんな事。本当に余計なお世話になりそうだなあ)

ともあれ、リソースをいじれるのもマックならではの。ということで、早速本題に入りますが、今回手を出すのはシステムそのものですから、危険窮まり無いので、必ずバックアップを取っておくことをお忘れなく。とはいえ、システムに万が一のことがあれば、そのデバイスでシステムを立ち上げることができませんから、フロッピーで立ち上げられるように万全を期しておいて下さい。

今回の目的は、画面右上の入力モードを表す記号(通常は●が日本語入力モード、◆が半角ASCII文字入力モード)を変えることです。

右の画面を見てください。この画面は私のMacintosh Plusの画面で、ちょうどローマ字入力アイコン(スモールアイコン)を見ているところです。右上のマルで囲んでいる、日の丸の旗とその下の「ローマ」という文字が見えますが、これが最近私が使っているアイコンです。

通常アイコン(ファインダーで表示されているアイコン)は、32×32ドットの大きさですが、このマークのように、16×16ドットの大きさのものをスモールアイコンと呼びます。

この限られた空間の中でデザインするのはかなり難しいのですが、アイコン本来の目的である、一目で意味が連想できるようなものを、使いたいものです。

この、一目で分かるという点では●と◆というのは落第ですね。これを変更している人の例では、日本地図とアメリカの地図とか、「漢」の文字と「英」の文字とかがありますが、その人のセンスがしのべれます。

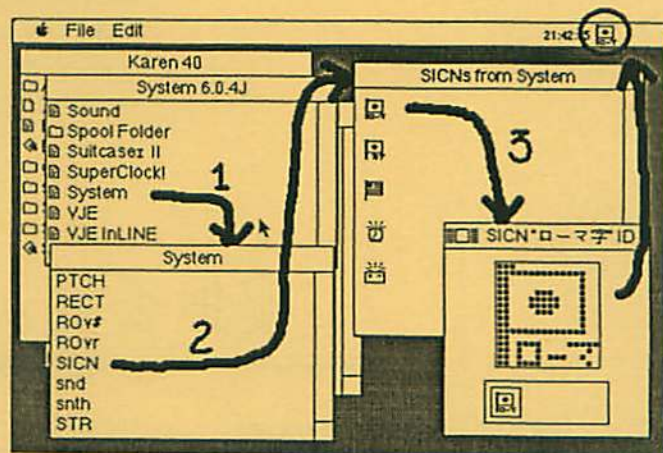
いよいよ具体的な変更方法です。まずResEditを起動します。そうすると自動的に、現在マウントされているボリュームのウィンドウが開きます。そうしたらシステムフォルダをダブルクリックして開きます。そのフォルダの中身が表示されますから、Systemを探してダブルクリックすると、Systemのリソースの一覧が、リソースタイプ毎に表示されます。(図中1の手順)

そのリソース名称(ID)一覧表をスクロールして、SICNという名前を探してダブルクリックします。そうするとスモールアイコンの一覧表が表示されます。(図中2の手順)

表示されたスモールアイコンの中から目指すアイコンを見つけ、ダブルクリックすると、そのアイコンを編集できるウィンドウが開きます。(図中3の手順)

あとはMac Paintのビット表示の感覚で、マウスで書き換えていけば、希望のものに出来るという訳です。

必要な変更が終わったら、開いたときと逆の手順でウィンドウを閉じていきます。(クローズボックスをクリック)このとき、リソースID一覧のウィンドウを閉じる時点で変更内容を格納するかを聞くダイアログボックスが



表示されますので、OKをクリックして格納します。

そうしたらResEditを終了します。するとファインダーに戻った時点で、今修正したばかりのアイコンが表示されます。

やってみると以外に簡単なので失敗は無いと思いますが、なんらかの要因で変更中に爆弾になると、大変なことになります。なにしろシステム本体をいじるのですから...

注意

この作業は、マルチファインダーの環境では行わないで下さい。必ずマルチファインダーを切ってから作業してください。



今後の 例会日程

11.8 (木)
12.6 (木)
1.10 (木)
2.7 (木)
3.7 (木)

※会費未納の方へ

IMFの会費は、4月から翌年3月までの1年分で3,000円です。未納の方は例会で会計まで、もしくは下記口座まで。

岩手銀行盛岡市役所出張所
普通預金 024340
岩手マックユーザー会
代表 佐々木幸司

(口座名は会の名前が決まる前に作ってしまったのでこんな変な名義になってしまっています。直せばいいんですけど・・・)

平成元年度決算

収入 (繰越金、会費、セミナー 余剰金等)	168,204円
支出 (会報代、通信費等)	79,310円
翌年度への繰越金	88,894円

編集委員からのお願い

「林檎」は、IMF例会とならんで、会員の皆様を結ぶ、大変重要なチャンネルです。MMMや忘年会、講習会など、会員の皆様が、IMFに参加する機会がありますが、隔月ごとに定期的に届けられる「林檎」は、IMFから皆様に情報をお届けする最大のパイプであり、またIMFの顔といった存在です。この「林檎」をより良いものにするために、ぜひとも、皆様のご協力をお願い申し上げます。

編集の基本理念は、「一人称」です。会員の親睦を優先し、あまりに専門的な情報は、最近続々と刊行されている各専門雑誌に譲り、会員の紹介や、それぞれの経験を御紹介させていただいております。したがって、内容について、ご質問や疑問、あるいはご意見などがあれば、すぐ、BBSや電話で執筆者と直接気軽に意見交換をしてい

ただけることが、最大の利点であると考えています。

しかし、まだ行き届かない点多々あるかと思えます。「林檎」をより良くするため、皆様方のきたんの無いご意見を伺い、反映させて行きたいと存じますので、最寄りの編集委員までご意見をお寄せください。

技術的な記事につきましては、今まで不定期に特集を組んで参りましたが、皆様方のMac使用経験の中には、他の会員の良い参考になるものがきっとあるに違い無いと存じ上げております。そういうことにつきましても、会員の皆様の積極的な投稿をお願い申し上げます。

皆様方の様々な努力の結果、「林檎」が継続刊行されていますが、なかなか編集委員の人数が増えず、本当にかろうじて定日の発行が行われている

のが現状であります。この実情を御理解いただき、少しでも編集委員の負担を減らすことができますようひとつ宜しくお願いいたします。

なお、御投稿くださいます方々には、ご多忙とは存じますが、何卒、原稿の締切日の厳守をお願い申し上げます。自分自身が、編集作業の締切期日などで、多々ご迷惑をお掛けしているものとして、誠に申し上げ難いことではありますが、皆様のご協力を心からお願い申し上げます。



編集後記



今回も最終編集会議中に日付が変わってしまいました。
眠いけど完成して良かったなー。 佐藤



MMMも無事終了し楽しい思い出となりました。
次回は忘年会でお会いしましょう。 杉村



今回は、記事と編集の両方だったうえに、いつもの調子で作業をしていたら、締め切りが早く焦ってしまったネットワーク障害の首罪でした。



今回のMMMには遅刻早退をして、ほとんど見聞きしていないにもかかわらず、MMMのレポートを書くという暴挙にでました。
冷汗をかきながら原稿を書いた福田です。



今夜は皆さんにご報告があります。なんと昨日(9/30)次男が誕生しました。名前はまだ思案中ですが、これから帰宅して長男の子守をしながら考えますので、お先に帰らせていただきます。ちなみに、今日私がした仕事はNTX-Jを運ぶことでした。あしからず。力持ちのお父さん 熊谷 朋也でした。



MMM参加、そしてヘッドウエー社長に面会と、興奮醒めやらぬ今日此の頃です。増々のめり込んでいる照井です。



わーい、今回はMMMの会場のレイアウトだけだ...と、喜んだのはあさはかでした。編集会議に欠席し続けた報いが、最終編集会議にきてしまった! 高橋



久々に佐藤先生宅にお世話になっています。早く終わる予定が、すでに2時を回っています。申し訳ありません。 徳富でした。



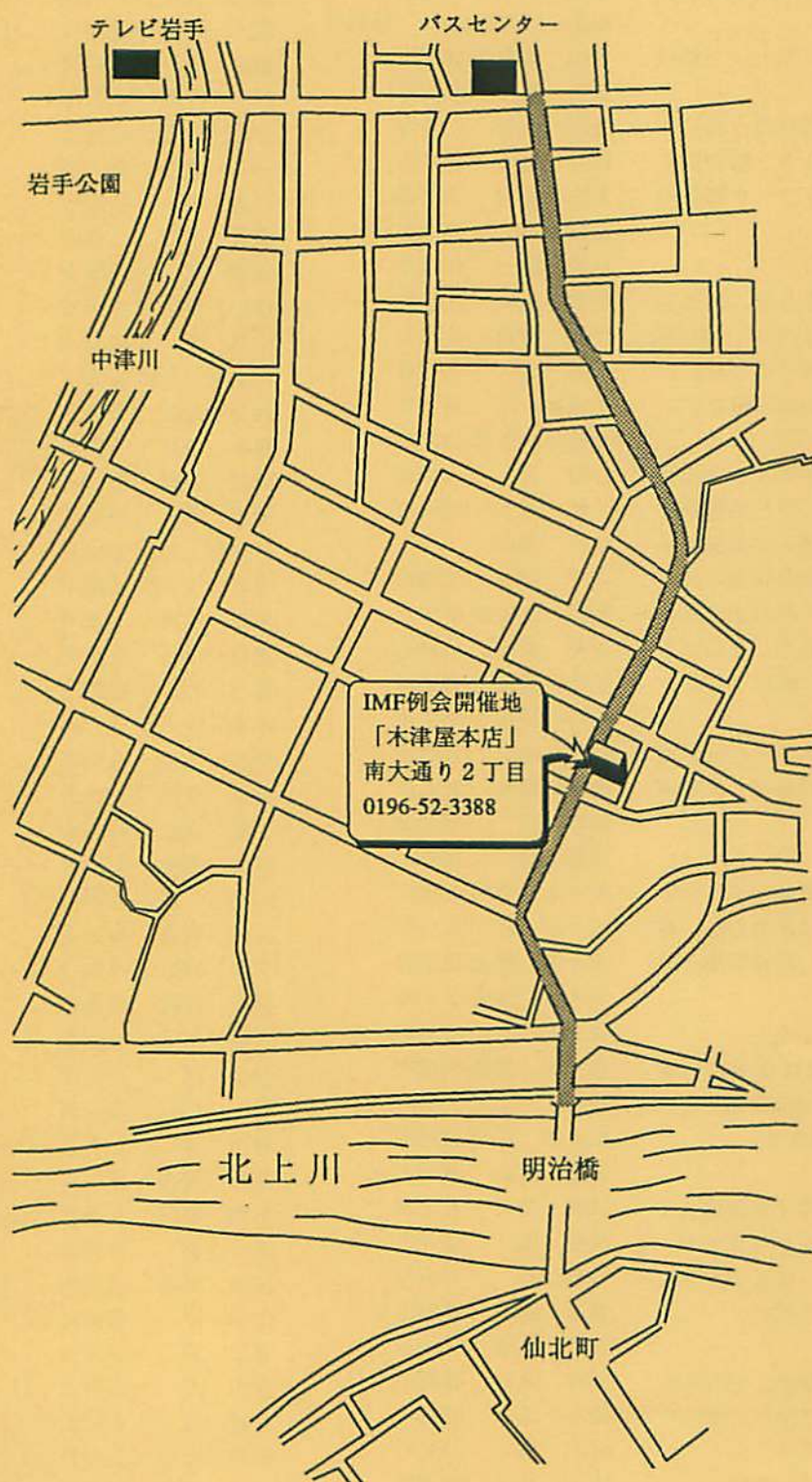
ウイスキーのコマーシャルに「女房酔わせてどうするつもり」というのがありますが、この後には「一人でマックをいじるつもり」と続くのだそうです。:-) 佐々木



やれやれ、ふむふむ、なかなか、どうしてどうして、よしよし、できたできた...で、今日はふらふら。 野村

会員名簿

Evelyn Harry	盛岡市	瀬川 昌男	盛岡市
Harry, Dick	盛岡市	関口 厚光	盛岡市
Richard L Lammers	盛岡市	戦場 博和	盛岡市
青山 真紀子	盛岡市	高島 浩一郎	盛岡市
浅田 昌稔	和賀町	高橋 晃	盛岡市
浅沼 清智	花巻市	高橋 真知子	盛岡市
浅野 恵治	花巻市	武元 伸次	盛岡市
荒木 健次	東京都	田中 慶司	東京都
安保 淳一	盛岡市	谷口 和美	盛岡市
伊崎 誠一	川越市	谷藤 幸夫	盛岡市
伊藤 光司	花巻市	千田 昭宏	北上市
伊藤 俊也	盛岡市	照井 恒	盛岡市
大石 伯	前沢町	照井 芳夫	花巻市
大河原 清	盛岡市	徳富 亘	花巻市
小笠原 英彦	盛岡市	中居 賢司	盛岡市
沖野 覚	二戸市	中島 順	流山市
小沢 徹	盛岡市	長土居 正弘	盛岡市
桂川 茂彦		西島 光茂	盛岡市
兼平 信一	盛岡市	根本 聰彦	八戸市
萱沼 まゆみ	盛岡市	野村 行憲	盛岡市
菅野 卓矢	盛岡市	橋本 彰	盛岡市
工藤 道範	盛岡市	日比野 利彦	都南村
熊谷 朋也	盛岡市	平野 三千代	盛岡市
香城 孝磨	花巻市	福田 健次	盛岡市
小松 寿夫	北上市	藤村 洋	盛岡市
斎藤 武	盛岡市	藤原 和彦	盛岡市
斎藤 怜	盛岡市	本多 健一郎	盛岡市
佐々木 幸司	盛岡市	米谷 則美	盛岡市
佐々木 健	矢巾町	前田 修悦	仙台市
佐々木 俊光	胆沢町	真館 貞治	盛岡市
佐々木 治男	矢巾町	松倉 拓次	都南村
佐々木 裕	盛岡市	三浦 一之	盛岡市
佐々木 文雄	紫波町	三浦 利章	浄法寺
佐々木 光夫	大槌町	三浦 利昭	浄法寺
佐々木 吉則	盛岡市	三浦 吉範	盛岡市
佐藤 護人	盛岡市	三田 光男	盛岡市
猿橋 浩昭	北上市	村上 誠一	盛岡市
波谷 誠	盛岡市	村上 弘行	盛岡市
白石 隆	都南村	村川 寿	千葉県
菅原 健蔵	盛岡市	望月 善次	盛岡市
菅原 忠雄	花巻市	本館 康司	花巻市
杉村 栄一	盛岡市	森 貞吉	盛岡市
鈴木 是光	盛岡市	山田 真希	盛岡市
鈴木 卓	軽米町	山本 淳	盛岡市
鈴木 裕之	盛岡市	吉田 新二	盛岡市
		吉田 実	盛岡市
		吉村 弦	盛岡市
		和田 政男	矢巾町
		渡辺 浩志	能代市



「林檎」11号は...

ASLTalk
ByWord
Color Magician
Digital Darkroom
EG-Bridge
EG-Word
Freehand
Illustrator
MacPaint
MacVJE
NinjaTerm
PageMaker
QuarkXPress
SuperPaint
Sweet JAM
TurboJip
TurboWriter

等で作ったものをPageMaker でまとめ、LaserWriter II NTX-Jでプリントしました。

1990/10/4 第11号
発行 岩手Mac友の会
代表 野村行憲
盛岡市月が丘 1-1-36

非売品